

# 箕輪町はWHO(世界保健機関)の 世界認証「セーフコミュニティ」活動に 取り組みます。

安心安全のまちづくりはすべての人の願いです。箕輪町は「通学安全パトロール隊」「交通安全協会」「消防団」などの住民ボランティアによる活動が盛んであり、皆さんの力により、安心安全が守られています。1989年にスウェーデンで始まった「セーフコミュニティ」の活動は予防科学のもと行政と住民が協働で安心安全を目指す取り組みであり、まさに箕輪町が目指す姿と一緒です。

安心安全なまちづくりは防犯や交通安全だけではなく、職場の安全、農作業時の安全、子どもや高齢者の家庭での安全などあらゆる分野に及びます。最近は全国的に自殺が問題となっており、自殺防止に積極的に取り組む必要があります。セーフコミュニティは「いのち」を守る取り組みです。

平成21年12月定例議会において、箕輪町はセーフコミュニティWHO認証取得を目指して第一歩を踏み出すことを宣言しました。

箕輪町を「安心安全の理想郷」にするため、町民の皆さんと共に安心安全のまちづくりを推進します。

箕輪町長 平澤豊満



平成21年12月15日、セーフコミュニティネットワークへ加わるための支援を希望する町の手紙が、WHO協働センターのホームページに掲載されました。



[http://www.phs.ki.se/csp/who\\_safe\\_communities\\_network\\_en.htm](http://www.phs.ki.se/csp/who_safe_communities_network_en.htm)

セーフコミュニティって何ですか？



セーフコミュニティとは、事故やケガは偶然の結果起きるのではなく、“予防できる”という考えに立ち、地域住民と行政、各種団体が協働して、地域の人たちがいつまでも健康で安全に暮らせるまちをつくろうという取り組みです。わかりやすく言えば『転ばぬ先の杖』といったところでしょうか。事故やケガを、実際に起きてからではなく、起きる前に防いでいこうという取り組みなのです。



安心安全なまちづくりというと防犯や交通安全のことですか？



セーフコミュニティの対象は防犯や交通安全だけではなく、自殺や不慮の転落事故、病気や薬物中毒など安心安全な暮らしを脅かす全てのことが対象になります。平成21年12月現在、世界で177の都市がセーフコミュニティ認証を取得しています。セーフコミュニティは世界的な基準に基づく認証なのです。



# このような活動もすべて「セーフコミュニティ活動」です!

交通安全協会の「交通安全活動」



交通少年団の交通事故防止  
「レター作戦」



通学安全パトロール隊の  
「子どもを守るパトロール活動」



消防団の  
「火災予防活動」



消防署による「AED講習会」



ケガをしない  
子どもを育てる  
「運動あそび」



自殺予防の活動  
「命の大切さ、こころの健康づくり講演会」



長寿のまちづくり  
「健康アカデミー」



町では「セーフコミュニティ推進協議会」を立ち上げるとともに、「セーフコミュニティ」について知るために「セーフコミュニティ学習会」を各地で開催します。詳しい日程は後日、広報「みのわの実」などでお知らせさせていただきます。住民の皆様、ぜひご参加ください。

問合せ先 総務課 ☎ 79-3111 (内線 104)